

羽幌町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地で異常気象による災害が発生し、国内・道内においても、これまでに経験したことのない記録的な猛暑や豪雨など、気候変動の影響が顕在化しております。

これらの主な要因は、二酸化炭素をはじめとした「温室効果ガスによる地球温暖化」とされており、2015年に採択された「パリ協定」では、「平均気温の上昇を産業革命以前に比べて抑制するよう努力する」との目標が掲げられたほか、この目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすること」が必要とされております。

このような情勢から、国では2020年10月に、2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指すことを表明し、2021年5月には地球温暖化対策推進法が改定されたところであります。

また、北海道におきましても地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しているところであります。

このことから、羽幌町においても脱炭素社会の実現に向け、豊かな自然環境と景観を守り、後世に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として、皆様とともに取り組んでいくことをここに宣言いたします。

令和5年9月6日

羽幌町長 森 淳